

浜松観光ボランティアガイドの会

事業部主催 東小学校ふるさと講座「浜松まつりの歴史」

10月3日(木)13時20分～14時20分、浜松市立東小学校にて3年生67人を対象に、ふるさと講座「浜松まつりの歴史」を実施しました。

講座を始める前に「浜松まつりに参加したことがある人」と聞いたところ全員手を挙げました。「1回ばかりではない」と言っていました。次に女子に「自分の名前入りの凧がある人」と聞いたところ、数名が手を挙げました。

手造りの紙芝居を使って、下記の①から④について説明をしました。

- ①浜松まつりの特徴：神社仏閣のまつりではなく、初子のお祝いをするためのまつり。
- ②凧の歴史：平安時代は貴族の遊び⇒江戸時代中期に



紙芝居による浜松まつりの歴史を説明

色々な質問が出ました。

- ・横骨を結んでいる糸はどうしてあるのか？
- ・凧は各町内何枚持っているか？凧揚げで何枚壊れるか？
- ・凧揚げの時、どの位の大きさの凧を使うのか？
- ・凧はどうして紙と竹で出来ているのか？作るのにどれくらい時間がかかるか？
- ・揚げ方の上手な町は何処か？凧柄は誰が決めたのか？凧に色が付いているのはどうしてか？

多くの質問に対して、谷野正康さんは住吉町の法被姿で参加し、森部勝義さんと一緒に面白い質問に真剣に答えてくれました。

齋藤博行さんは、174町の凧印が掲載されている新聞を持ってきて白板に掲示したところ、子供たちは興味を持ち、上記質問のきっかけにもなりました。

子供たちは最後まで集中力を切らさず熱心に聞いてくれました。有意義な時間だったと思います。

事業部長 戸塚正康（東ブロック）



浜松まつり参加者の挙手

は、日本中、初子のお祝いで端午の節句に凧を揚げることが流行⇒浜松では高林方朗(たかばやし みちあきら)が凧を発注。(浜松で最古の記録)

- ③屋台の歴史：凧を運ぶ為に大八車を使用⇒底なし屋台の中で芸者のお雛子(おはやし)、屋根に凧⇒床付き屋台⇒豪華で大型の屋台。
- ④凧を揚げる場所の移り変わり：最初は各町内⇒明治中頃、大安寺 (肴町)、新川と馬込川の間空き地等⇒和地山 (旧陸軍練兵場) ⇒中田島。

森部勝義さんからは、持参した半帖の凧、凧糸、テギの説明をしました。「私は東小学校出身です」と言うと皆大喜びでした。



東小学校 OB 森部さんの半帖凧の説明

「ぬまづ観光ボランティアガイドの会」を迎えて

9月12日(木)10時30分～12時「ぬまづ観光ボランティアガイドの会」のメンバー35名様をお迎えし、南ブロックの杉本忠久さん、古本俊夫さん、橋本信吾の3名にて浜松元城町東照宮、浜松城の順でご案内しました。私達は浜松城公園の駐車場までお迎えに上がり、ご挨拶後、東照宮へ向かいました。



浜松城公園駐車場にてご挨拶

東照宮では、徳川家康の引間城入城から現在の東照宮に至る歴史の概要をご説明し、境内・建物等をご案内しました。まず、手水所では梁上の眠り猫を観ていただき、社殿左右に立つ石灯籠ではこれを触りながら、中台に彫り込まれた猪の目、火袋に掘られた茶道具等を観賞していただきました。社殿裏のユーカリは清涼感のある香りを漂わせており、皆さんは、短期間でこれだけの巨木に成長した姿に感心され、ご神木に納得されていました。

秀吉、家康のブロンズ像が並んで立つパワースポットはご存知の方も多かったです。境内を発掘調査した時にどのような物が出土したのかご質問がありました。元目口あたり

りでは、家康が三方ヶ原合戦で一敗地に塗れ(まみれ)、ここへほぼ単騎で逃げ帰った雰囲気を感じていただきました。

浜松城へは、芝生公園北側から日本庭園を右手に見て、埋門跡から鉢巻石垣、屏風折れ等珍しい石垣をご案内し、天守曲輪で休憩且つ記念撮影をしました。伊豆石を見慣れた皆様方は、珪岩を使って荒々しく積まれた野面積石垣が珍しく感じられるようでした。浜松城内は当日、団体客でやや混雑していたため、多少分散した状態で3階まで上り、望楼へ到着しました。心地良い西風に当たりながら、浜松市内の景色を楽しんでいただきました。東方向を望みましたが、富士山を見ることはできませんでした。お客様方からは「近くに住んでいても、綺麗に見えることは稀です」と慰められ、「逆に、この位遠方から見える富士山もとても綺麗でしょうね」とフォローしていただきました。帰りは石段をゆっくり下り、天守門をくぐった後の大きな鏡石、1590年代の天守曲輪の石垣を観賞していただきました。



東照宮で説明を聞く様子

お別れ前にぬまづの会員さんから、当会の古橋初代会長の近況を尋ねられました。ぬまづ観光ボランティアガイド様と当会との長いお付き合いを感じました。又、分かりやすい説明が良かったと評価していただきました。

ぬまづ観光ボランティアガイドの皆様は、沼津御用邸記念



天守閣を背景に記念写真の撮影

公園、びゅうお(大型展望水門)で土・日・祝日の待機ガイドを中心に、学童研修ガイド、モデルコースの依頼ガイド等でご活躍のようです。会員数は男性27名女性24名の51名だそうです。ユニフォームは真白、薄紫色の帽子を着用とのこと。帽子の色は高貴な場所(御用邸)をご案内する関係でこの色を選択したそうです。会の設立は平成14年、今年から17年目に入っています。

沼津市の面積は約187km²で浜松市の12%ですが、水産資源に恵まれ、63kmと長い海岸線を有する風光明媚な地域です。御用邸記念公園、びゅうお以外にも素晴らしい観光スポットが豊富です。これを機会に、お互いに親密な交流を図りたいと思います。



ぬまづの皆様のご活躍の様子：HPの写真より

南ブロック 橋本信吾

会員の交流広場

シアトルの大自然につつまれて

海外へ行くことに躊躇がある。何故なら、今まで体験した飛行機の旅は座席の間隔が狭く、リクライニングを使うにしても後ろの人に気を使い、ジーンと長い時間座り続けなければならない。それは、エコノミー席だからである。解消法は上位クラスの席にすればよいのであるが、懐具合と相談する必要がある。今回、シアトルに住む娘から「孫の卒園式を見に来ないか」と連絡があり、これが最後の飛行機旅と自分で決め、重たい腰を上げる。

夏も近いある日、成田空港を夕刻6時過ぎに離陸、機上の人となる。アレ！！エコノミーでもこの飛行機は座席の間隔が広い、リクライニングも気兼ねなく使える。これなら9時間ゆったりくつろげる。暫くまどろむ。

目を開けると雲の間から、海岸線が飛び込んでくる、湖が見える、木々の間から家々が見える。ここが、アメリカで日本に一番近いシアトルだ！飛行機旅を終えアメリカの大地に降り立つ。空港の時計を見ると11時過ぎを指している、成田を出発したその日だ。



ユニオン湖 越しのシアトル中心街

次の日、近くにウォーキングに適した湖があることを知り、早速出向く。湖の名は「グリーンレイク」といい周囲2.5Kmでウォーキングに手頃なコースだ。湖畔に到着する…おしゃべりを楽しんでいる人たち・黙々と歩く人・ジョギングの人・サイクリングの親子など…シアトルの人たちは戸外へ出て体を動かすのが好きなようだ。

そんな中、ゆったりとした気分グリーンレイクを一周して、帰宅しようと来た道と違った道で帰ろうとしたのが失敗の始まり、住宅街を30分の間うろうろ歩く。親切そうなオッサンを見つけ声をかける、「エックスキューズミー！」と逗留先の住所を見せる。オッサンの身振り手振りで大体の様子が分かった！！「サンキュー！」やっとの思いで家にたどり着く。アーッ疲れた。



住宅街の道路 道の両側が駐車場

いよいよ卒園式だ。爺さん・婆さんまでもが晴れがましくそわそわした気分になる。式が始まる日本語の案内がうれしい！これなら分る。

そこに、真っ白な妖精が舞台に登場。白い角帽・白いガウン。若いパパ達がスマホを構える。妖精たちは舞台いっぱい踊り、そして歌う。1時間位で卒園式は終わり、後は楽しいお食事会。若いお父さん・お母さんが数人集まり町のレストランへ。爺さん・婆さんは近所の食堂でうどんをすすする。

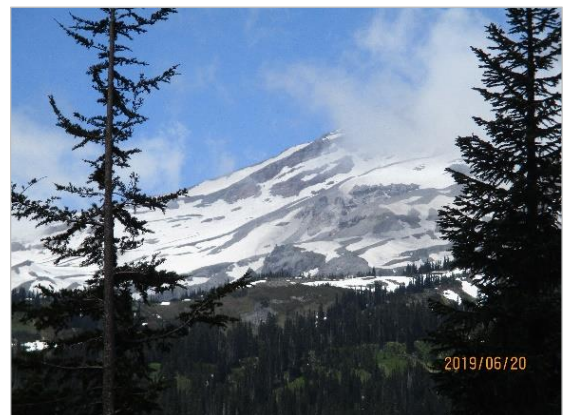
シアトルの南約100Kmにレイニエ山(4392m)が聳える。明治初年、大地を求め太平洋を渡った日本人の入植者が富士山を懐かしみ、タコマ富士と呼んでいた。そのレイニエ山麓で3泊して大自然を満喫する旅だ。

出発！！シアトル郊外へ出ると真っ直ぐに伸びた一本道となり、道の両側には背の高い針葉樹林が続き、所々に牧場が拓け、牛が、羊がのんびり草を食んでいる。2時間半のドライブで目的のキャビン(ログハウス)に到着する。

レイニエ山一番のビューポイントのパラダイス(標高1500m)に着く。夜半からの雪で木々が綿帽子をかぶっている。オー寒い！防寒具を付け、トレイルコースに入る。雪解け水を集めた滝が水しぶきを上げる。マーモットや鹿が可愛い姿を見せる。

最後の日、初めて頂を一瞬見せてくれた。サンキュー！！

中ブロック 清水正之



レイニエ山

4年に一度じゃない 一生に一度だ ラグビー WORLD CUP 2019 日本大会開幕!

9月20日(金)から「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が開幕し、袋井市のエコパスタジアム、浜松駅、掛川駅、ファンゾーンの各場所にて当会員9名が、大会ボランティアとして、それぞれの持ち場で役目を担って活動している。



愛野駅前の
モニュメント

☆日本代表の戦績 (10月5日現在)

9月20日(金) 日本 30 対 10 ロシア (東京スタジアム)

9月28日(土) 日本 19 対 12 アイルランド (エコパスタジアム)

10月5日(土) 日本 38 対 19 サモア (豊田スタジアム)

日本は世界ランキング2位の優勝候補アイルランドに、なんと逆転勝利! サモアにも勝利して、開幕から3戦全勝とし、勝ち点14でA組の首位!

☆ファンゾーン

9月28日にソラモのファンゾーンに立ち寄る機会があり、大勢のファンと80分間の熱戦を観戦し、大いに盛り上がった。2015年大会の南アフリカ戦、28日のアイルランド戦での勝利、もはや奇跡ではない! 日本代表の実力だ。

私の大胆な予想では日本代表はベスト8に進み、決勝トーナメントでオールブラックスに勝利し、優勝決定戦まで進み、なっとなんと優勝してしまうかも…奇跡よ起これ!!

広報部 小池輝夫 (東ブロック)



優勝トロフィー

訃 報

市川廣行さん (西ブロック18期) が病気のため、9月26日に亡くなりました。(享年69歳)
ボランティアガイドを生きがいとし、事業部員としても活動に取り組まれました。
謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

9月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体

* クラブツーリズム	5回	172名
* JTBメディアリテリング	4回	243名
* 阪急交通社	3回	51名
* 富士自動車(株) 観光部	2回	60名
* 日本旅行ラグビーワールドカップ観戦ツアー	2回	79名

3日 火 砥鹿神社崇敬会	24名
6日 金 森町立天方小学校	15名
7日 土 秦野市消防本部	25名
医療法人社団宗美会は一とぼる	23名
11日 水 伊佐見小学校	40名
12日 木 ぬまづ観光ボランティアガイドの会	35名
中国青年代表団	65名
鹿玉小学校	55名
21日 土 東京燃料財産(株)	62名

23日 月 城東地区聴覚障害者団体	42名
26日 木 矢ヶ崎親睦会	27名
28日 土 (株)国誉アルミ製作所	17名
KIKD (台湾人団体)	28名
29日 日 ハミングツアー下越営業所	40名
* 上記以外に14名以下の13団体	143名

《犀ヶ崖資料館》

11日 水 伊佐見小学校	40名
25日 水 交通安全推進委員	30名

《浜松まつり会館》

11日 水 八幡たけくらぶ 京都	26名
新居地区寿大学	45名
19日 木 山梨県年金受給者協会甲府西支部	49名
* 日曜対応 (1, 8, 15, 22, 29日)	392名

はままつ案内人会報 211号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん